

いよいよ3月に入ります。



今週を除くと、授業日も卒園・卒業・修了式を含め、あと2回となります。同じ時間のはずですが、慌ただしさからか、とても早く感じます。そんな中、卒後式の練習も始まり、子どもたちの歌声や呼名に対する返事などを聞いていると、「いよいよ卒業式だ」という思いと、子どもたちが巣立っていく寂しさを感じています。私にとって、本校での最後の卒園・卒業・修了式と思うと、例年以上に感傷的になります。まだ、子どもたちの成長する姿を見守っていたい気持ちで一杯です。

子どもたちは、今、何を感じているのでしょうか？これまでの学校生活を振り返る余裕もあまりないかもしれませんが、この時期だからこそ、ご家庭でも語り合ってみること大切ではないでしょうか。子どもたちが本校で学ぶ意義や目的、またそれを達成するための努力が必要なこと等々。特に、保護者の方々のこれまでの苦勞についても話してあげることも大切です。ここまで来るには、自分一人の力では出来なかったはずですが、保護者のご苦勞を聞くことで、子どもたちは、周りの人に対する感謝の気持ちが強くなるはずですが、節目節目の時に、親子で話し合えると良いですね。私は、なかなか出来なかったもので、自戒の念を込めて、保護者の皆様をお願いします。素敵な親子の会話になりますように！



音読発表会が行われます。

先週は小低部1年生が、今週は小低部2年生が、各教室に於いて、音読発表会を行います。この日のために、しっかりと練習してきました。少し緊張して、失敗することもあるかもしれませんが、子どもたちの頑張りが見せられたらと思っています。素敵な発表会になることを楽しみにしています。また、来週は、同様に小中部3年生でも、音読発表会を小低部2年生の前で行います。先輩として、立派な音読ができると信じています。

また、今週は、幼稚部もみじの小学部見学会や小中部4年生の「水習字」やその他の学年でも球技大会など、色々予定されています。子どもたちが、心の底から楽しめる行事になると思っています。ぜひご家庭でも学校の様子を話題にして、親子の会話を楽しんでください。



子どものアイデンティティについて

Who am I ?



Where am I going?

一般的に、言語と文化は表裏一体だと言われています。しかし、言語は、単に文化的背景を表現しただけのものではありません。その言語の話し手一人ひとりのアイデンティティを表現するものでもあります。言葉を習得することは、「日本人」としてのアイデンティティの表現手段なのです。難しい話になりましたが、要は、アメリカに住む子供たちにとって、日本語を学習することは、言語の習得だけでなく、「日本人」としてのアイデンティティを作ることであります。英語の習得で得られる「アメリカ人」としてのアイデンティティと合わせて、独自のアイデンティティを持ったグローバルな人材になって世界中で活躍してくれることを期待しています。本校の子どもたちが活躍する未来を考えるととてもワクワクします。

銀行引き落としのご準備を

2017年度の第1期分の銀行引き落としが3月13日(月)に行われる予定です。出費多端な折りではありませんが、ご準備の程、宜しくお願いたします。

なお、本年度をもって退学を希望されるご家庭におかれましては、正式な退学届けをご提出願います。ご提出がない場合は、自動的に銀行引き落としが行われますので、ご注意ください。